

第 47 回「秋田県内企業の景気動向調査」結果  
(2023 年 2 月調査)

～ 景況感は 2 期連続で悪化。先行きはさらに悪化の見通し ～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲4.0（前回調査比 4.5 ポイント下落）と 2 期連続で悪化した。「各種D I 値（前年同期比）」では、「売上高」「営業利益」「資金繰り」がいずれも悪化となった。また、「人員人手」はプラス幅が縮小し、人手不足感が幾分緩和した。
- **業種別**に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、建設業では 5 期連続の改善となった一方、製造業では 3 期ぶりの悪化、卸・小売業とサービス業でも 2 期連続の悪化となった。
- **地域別**に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲4.7（前回調査比 1.5 ポイント上昇）と改善となった一方、中央は 0.6（同 7.1 ポイント下落）、県南は▲11.8（同 3.5 ポイント下落）とともに悪化となった。
- **先行き**見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲24.1（今回調査比 20.1 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

【 特別調査 】

- **雇用調整**についてうかがったところ、令和 4 年度に実施した（あるいは実施している）雇用調整について実施している企業の割合は、「残業規制」が 34.0%（前年調査比 1.8 ポイント上昇）、「ワークシェアリング」が 14.8%（同 3.7 ポイント上昇）とともに前年に比べて上昇した一方、「従業員の削減」は 4.9%と横這いであった。
- **新卒者の採用状況**について、来年度（令和 5 年度）の新卒者の採用状況（採用する）について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種では 37.8%（前年調査比±0 ポイント）と横這いとなった。

2023 年 2 月

株式会社フィデア情報総研

## 目次

I. 県内企業の業況	1
1. 概況	1
2. 業種別の動向	2
(1) 業種別の概況	2
(2) 業種別DI値の動向	3
① 建設業	3
② 製造業	4
③ 卸・小売業	5
④ サービス業	6
3. 地域別の動向	7
(1) 地域別の概況	7
(2) 地域別DI値の動向	8
① 県北	8
② 中央	9
③ 県南	10
II. 景気の天気予報図	11
III. 特別調査	12
1. 雇用調整について	12
2. 新卒者の採用状況について	13
<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>	14
<参考資料Ⅱ：調査の概要>	14

## I. 県内企業の業況

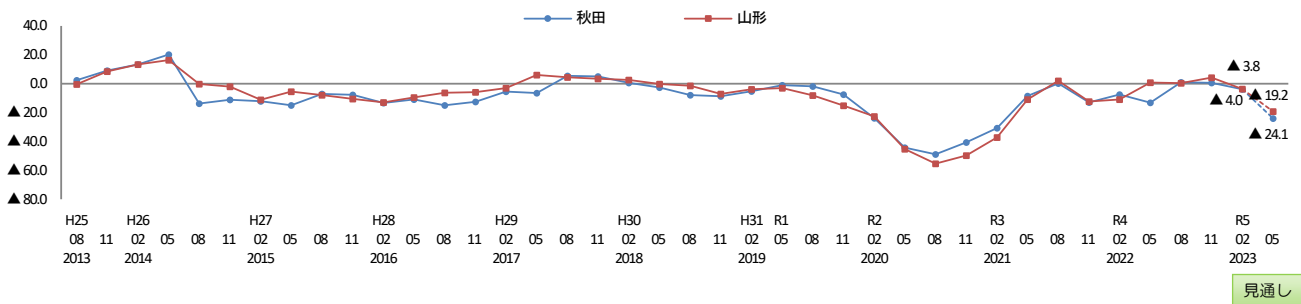
### 1. 概況

#### ～ 景況感は 2 期連続で悪化。先行きはさらに悪化の見通し ～

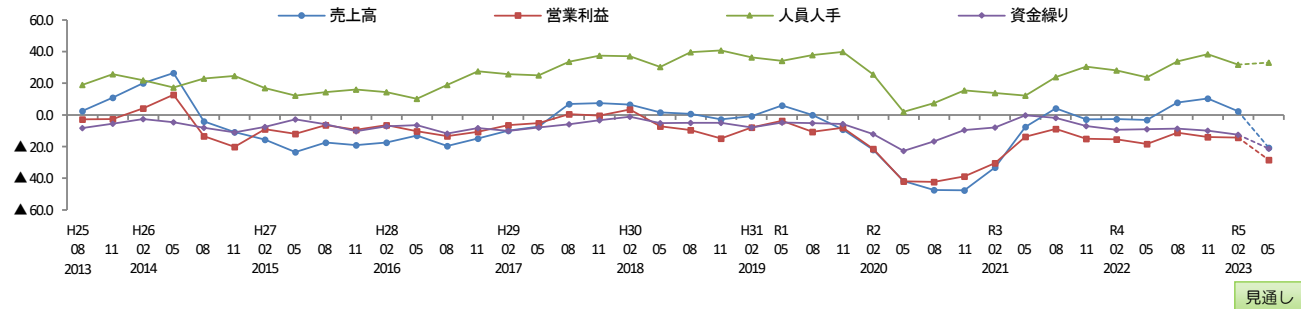
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲4.0（前回調査比 4.5 ポイント下落）と 2 期連続で悪化した。「各種D I 値（前年同期比）」では、「売上高」「営業利益」「資金繰り」がいずれも悪化となった。また、「人員人手」はプラス幅が縮小し、人手不足感が幾分緩和した。

先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲24.1（今回調査比 20.1 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 1 全業種「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

全業種 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2022.02 (n=370)	▲ 7.6	5.4	▲ 9.1	▲ 2.7	▲ 15.4	28.2	▲ 9.4
2022.05 (n=353)	▲ 13.3	▲ 5.7	▲ 25.7	▲ 3.2	▲ 18.4	23.8	▲ 9.1
2022.08 (n=347)	0.9	14.2	▲ 15.3	7.8	▲ 11.2	33.7	▲ 8.7
2022.11 (n=344)	0.5	▲ 0.4	▲ 11.5	10.4	▲ 14.0	38.4	▲ 9.9
<b>2023.02 (n=344)</b>	<b>▲ 4.0</b>	<b>(▲ 4.5)</b>	<b>▲ 14.5</b>	<b>2.3</b>	<b>▲ 14.3</b>	<b>31.7</b>	<b>▲ 12.5</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 8.1)	(▲ 0.3)	(▲ 6.7)	(▲ 2.6)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 24.1</b>	-	-	<b>▲ 20.7</b>	<b>▲ 28.5</b>	<b>33.1</b>	<b>▲ 21.2</b>
今回調査比	(▲ 20.1)	-	-	(▲ 23.0)	(▲ 14.2)	(1.4)	(▲ 8.7)

※ 「売上高」D I 値は、建設業の「完成工事高」を含んだ値。

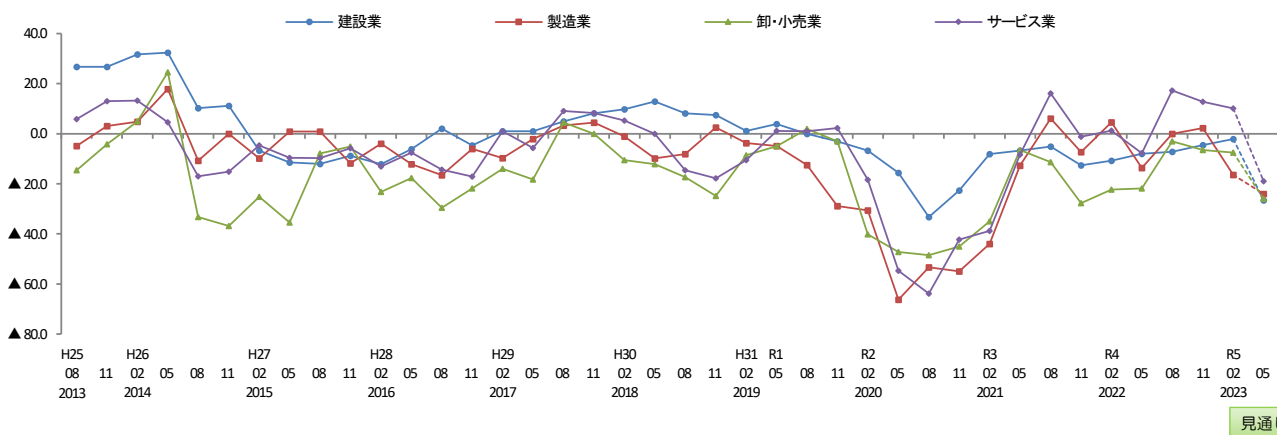
## 2. 業種別の動向

### (1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業では 5 期連続の改善となった一方、製造業では 3 期ぶりの悪化、卸・小売業とサービス業でも 2 期連続の悪化となった。

業況の先行き見通しは、4 業種すべてで悪化の見通しとなっている。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
2022.02 (n=370)	▲ 7.6	▲ 10.8	4.6	▲ 22.3	1.2
2022.05 (n=353)	▲ 13.3	▲ 8.0	▲ 13.7	▲ 21.8	▲ 7.8
2022.08 (n=347)	0.9	▲ 7.2	0.0	▲ 3.1	17.3
2022.11 (n=344)	0.5	▲ 4.5	2.3	▲ 6.5	12.8
<b>2023.02 (n=344)</b>	<b>▲ 4.0</b>	<b>▲ 2.1</b>	<b>▲ 16.4</b>	<b>▲ 7.6</b>	<b>10.1</b>
前回調査比	(▲ 4.5)	(2.4)	(▲ 18.7)	(▲ 1.1)	(▲ 2.7)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 24.1</b>	<b>▲ 26.6</b>	<b>▲ 24.0</b>	<b>▲ 26.0</b>	<b>▲ 19.0</b>
今回調査比	(▲ 20.1)	(▲ 24.5)	(▲ 7.6)	(▲ 18.4)	(▲ 29.1)

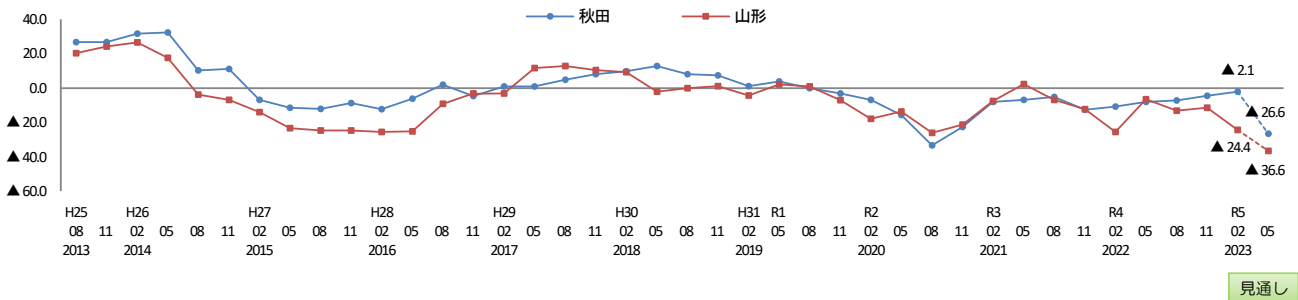
## (2) 業種別 D I 値の動向

### ① 建設業

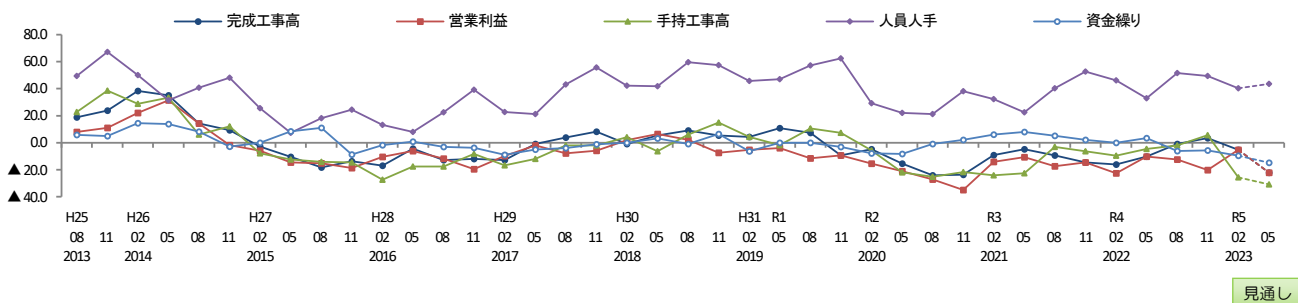
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲2.1（前回調査比 2.4 ポイント上昇）と 5 期連続で改善した。「各種 D I 値（前年同期比）」では「営業利益」が 3 期ぶりに改善したものの、「完成工事高」「手持工事高」「資金繰り」はいずれも悪化となった。また、「人員人手」は 2 期連続でプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、ある程度の受注は確保できているものの、資材価格高騰や資材納期の遅延などが業績を下押ししている状況が引き続きうかがえた。

先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲26.6（今回調査比 24.5 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

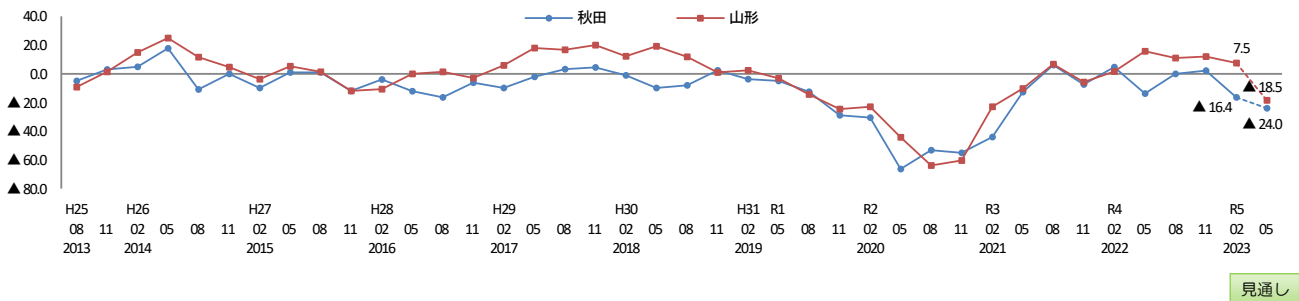
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）		完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り	
	前回調査比	前回調査予測						
2022.02 (n=93)	▲ 10.8	1.8	▲ 13.7	▲ 16.1	▲ 22.6	▲ 9.7	46.2	0.0
2022.05 (n=88)	▲ 8.0	2.8	▲ 22.6	▲ 10.2	▲ 10.3	▲ 4.6	32.9	3.4
2022.08 (n=97)	▲ 7.2	0.8	▲ 25.0	▲ 1.0	▲ 12.4	▲ 2.0	51.5	▲ 6.2
2022.11 (n=89)	▲ 4.5	2.7	▲ 12.4	3.3	▲ 20.2	5.6	49.5	▲ 5.7
<b>2023.02 (n=94)</b>	<b>▲ 2.1</b>	(2.4)	<b>▲ 15.7</b>	<b>▲ 5.3</b>	<b>▲ 5.3</b>	<b>▲ 25.6</b>	<b>40.4</b>	<b>▲ 9.6</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 8.6)	(14.9)	(▲ 31.2)	(▲ 9.1)	(▲ 3.9)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 26.6</b>	-	-	<b>▲ 22.3</b>	<b>▲ 22.3</b>	<b>▲ 30.9</b>	<b>43.6</b>	<b>▲ 14.8</b>
今回調査比	(▲ 24.5)	-	-	(▲ 17.0)	(▲ 17.0)	(▲ 5.3)	(3.2)	(▲ 5.2)

## ② 製造業

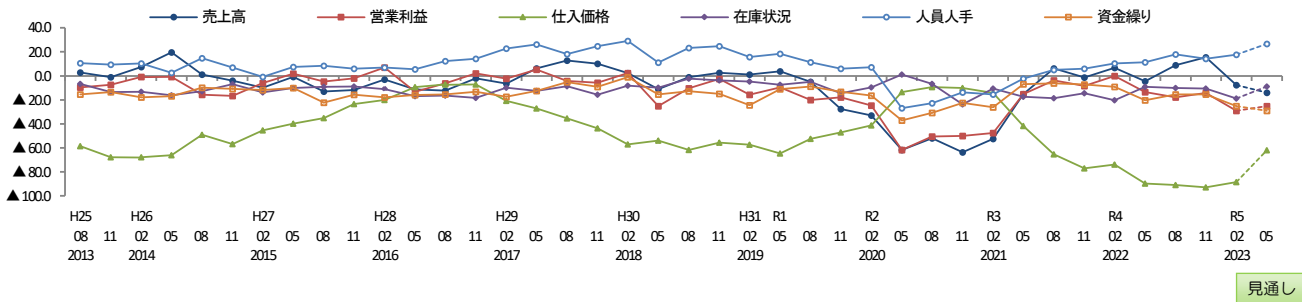
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲16.4（前回調査比 18.7 ポイント下落）と 3 期ぶりの悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「仕入価格」が 4 期ぶりに幾分改善したものの、「売上高」「営業利益」「在庫状況」「資金繰り」はいずれも悪化となった。また、「人員人手」は 2 期ぶりにプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、電気料金の上昇に伴う収益の悪化など、エネルギーや原材料価格上昇に伴う製造原価高騰の影響を挙げるコメントが多く寄せられた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲24.0（今回調査比 7.6 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

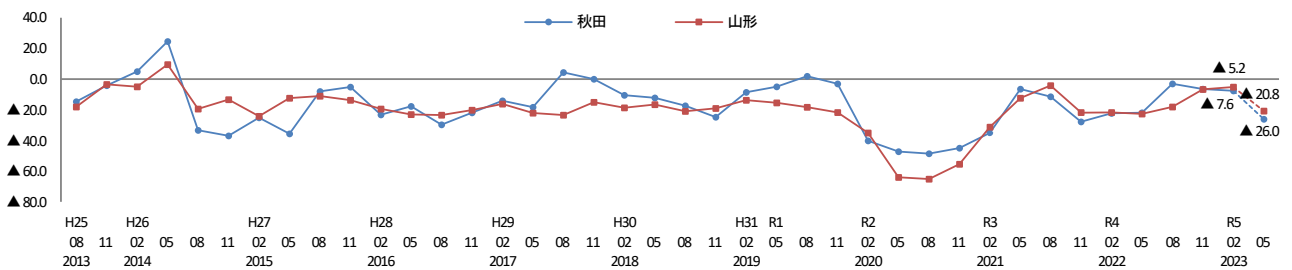
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2022.02 (n=88)	4.6	11.9	▲ 2.4	6.8	0.0	▲ 73.9	▲ 20.4	10.3	▲ 9.1
2022.05 (n=88)	▲ 13.7	▲ 18.3	▲ 26.1	▲ 4.6	▲ 13.6	▲ 89.8	▲ 9.1	11.4	▲ 20.4
2022.08 (n=78)	0.0	13.7	▲ 8.0	9.0	▲ 17.9	▲ 91.0	▲ 10.2	18.0	▲ 15.4
2022.11 (n=84)	2.3	2.3	▲ 3.9	15.5	▲ 14.2	▲ 92.9	▲ 10.7	14.3	▲ 15.5
<b>2023.02 (n=79)</b>	<b>▲ 16.4</b>	<b>(▲ 18.7)</b>	<b>▲ 13.1</b>	<b>▲ 7.6</b>	<b>▲ 29.1</b>	<b>▲ 88.6</b>	<b>▲ 18.9</b>	<b>17.7</b>	<b>▲ 25.3</b>
前回調査比	-	-	-	(▲ 23.1)	(▲ 14.9)	(4.3)	(▲ 8.2)	(3.4)	(▲ 9.8)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 24.0</b>	-	-	<b>▲ 13.9</b>	<b>▲ 25.3</b>	<b>▲ 62.0</b>	<b>▲ 8.9</b>	<b>26.6</b>	<b>▲ 29.1</b>
今回調査比	(▲ 7.6)	-	-	(▲ 6.3)	(3.8)	(26.6)	(10.0)	(8.9)	(▲ 3.8)

### ③ 卸・小売業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲7.6（前回調査比 1.1 ポイント下落）と小幅ながら 2 期連続の悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「売上高」「仕入価格」「資金繰り」がいずれも改善し、「在庫状況」は横這いとなった一方、「営業利益」は悪化となった。また、「人員人手」は 3 期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、総じて仕入れ価格の上昇が続く一方で価格転嫁は遅れており、電気料金などの光熱費高騰の影響が顕在化しているほか、一部には消費者の買い控えの動きが見られた。

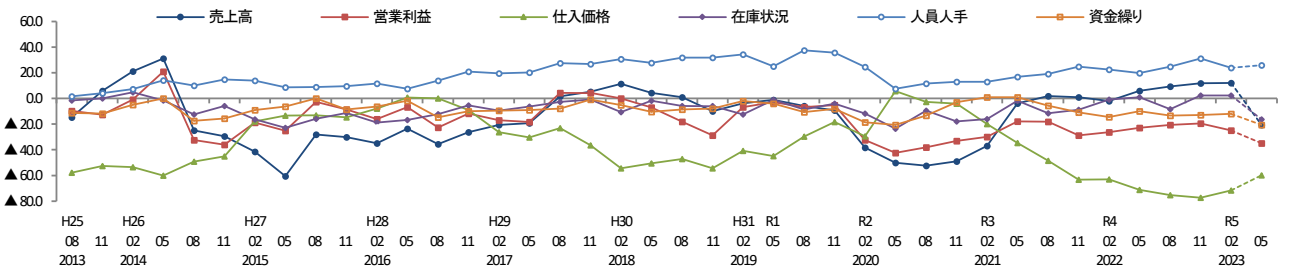
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲26.0（今回調査比 18.4 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 9 卸・小売業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

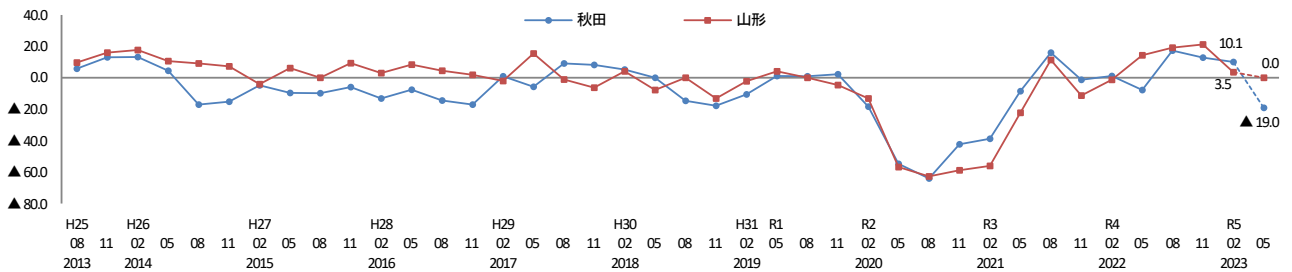
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2022.02 (n=103)	▲ 22.3	5.4	▲ 16.8	▲ 2.0	▲ 26.2	▲ 63.1	▲ 0.9	22.4	▲ 14.5
2022.05 (n=101)	▲ 21.8	0.5	▲ 33.0	5.9	▲ 22.8	▲ 71.3	1.0	19.8	▲ 9.9
2022.08 (n= 97)	▲ 3.1	18.7	▲ 23.8	9.3	▲ 20.7	▲ 75.3	▲ 8.3	24.7	▲ 13.4
2022.11 (n= 93)	▲ 6.5	▲ 3.4	▲ 21.7	11.8	▲ 19.4	▲ 77.4	2.2	31.2	▲ 12.9
<b>2023.02 (n= 92)</b>	<b>▲ 7.6</b>	<b>(▲ 1.1)</b>	<b>▲ 22.5</b>	<b>12.0</b>	<b>▲ 25.0</b>	<b>▲ 71.7</b>	<b>2.2</b>	<b>23.9</b>	<b>▲ 12.0</b>
前回調査比	-	-	-	(0.2)	(▲ 5.6)	(5.7)	(0.0)	(▲ 7.3)	(0.9)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 26.0</b>	-	-	<b>▲ 20.7</b>	<b>▲ 34.8</b>	<b>▲ 59.8</b>	<b>▲ 16.4</b>	<b>26.0</b>	<b>▲ 20.6</b>
今回調査比	(▲ 18.4)	-	-	(▲ 32.7)	(▲ 9.8)	(11.9)	(▲ 18.6)	(2.1)	(▲ 8.6)

### ④ サービス業

「自社の業況D I 値（前年同期比）」は10.1（前回調査比2.7ポイント下落）と依然「良化」超ながら2期連続で悪化した。「各種D I 値（前年同期比）」でみると、「売上高」が小幅な悪化となった一方、「営業利益」「資金繰り」はともに改善した。また、前期は大きく人手不足感を高めた「人員人手」は大幅にプラス幅が縮小した。各社のコメントからみると、行動制限の緩和が続くなか、人流回復などに伴う売上への寄与はあるものの、総じてみれば光熱費や燃料費等のコスト上昇による業績への影響が色濃うかがえた。

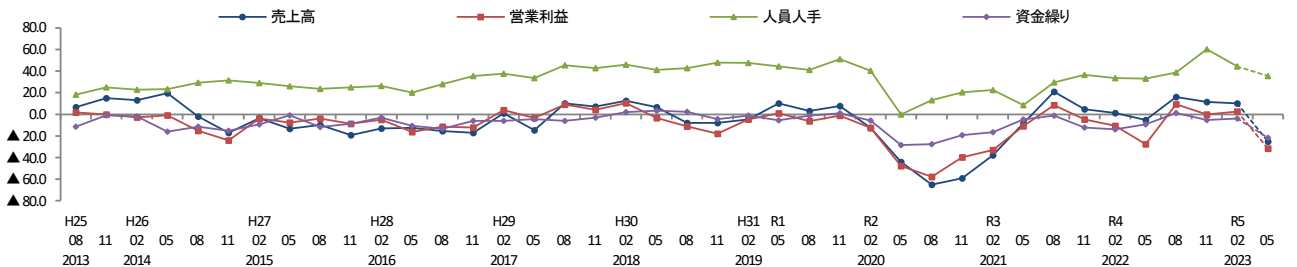
業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲19.0（今回調査比29.1ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 11 サービス業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況D I 値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2022.02 (n=86)	1.2	2.4	▲1.2	1.2	▲10.5	33.7	▲13.9
2022.05 (n=76)	▲7.8	▲9.0	▲19.8	▲5.3	▲27.6	32.9	▲9.2
2022.08 (n=75)	17.3	25.1	▲1.3	16.0	9.3	38.6	1.3
2022.11 (n=78)	12.8	▲4.5	▲5.4	11.6	0.0	60.2	▲5.1
<b>2023.02 (n=79)</b>	<b>10.1</b>	<b>(▲2.7)</b>	<b>▲5.1</b>	<b>10.1</b>	<b>2.6</b>	<b>44.3</b>	<b>▲3.8</b>
前回調査比	-	-	-	(▲1.5)	(2.6)	(▲15.9)	(1.3)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲19.0</b>	-	-	<b>▲25.3</b>	<b>▲31.7</b>	<b>35.4</b>	<b>▲21.6</b>
今回調査比	(▲29.1)	-	-	(▲35.4)	(▲34.3)	(▲8.9)	(▲17.8)



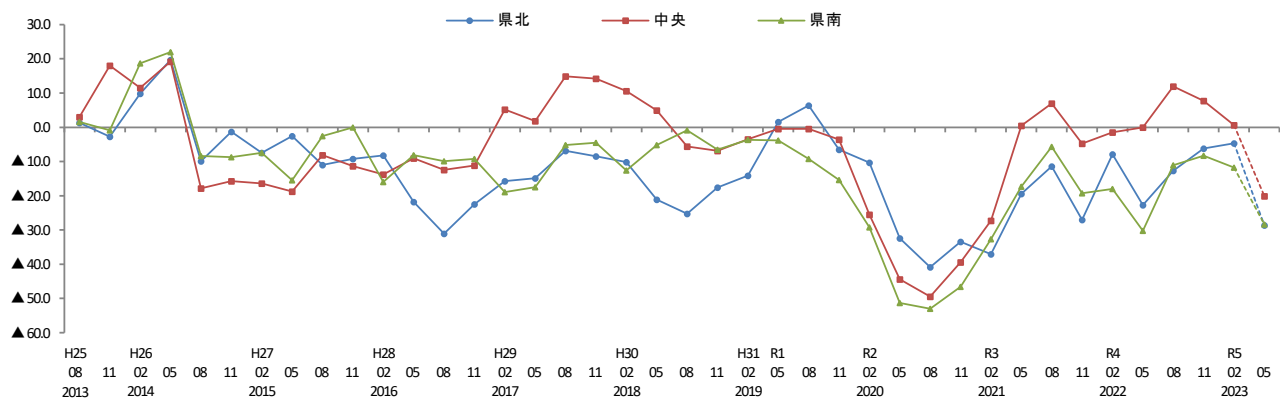
### 3. 地域別の動向

#### (1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、県北が▲4.7（前回調査比 1.5 ポイント上昇）と改善となった一方、中央は 0.6（同 7.1 ポイント下落）、県南は▲11.8（同 3.5 ポイント下落）とともに悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、すべての地域で大幅な悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			
	全地域	県北	中央	県南
2022.02 (n=370)	▲ 7.6	▲ 7.9	▲ 1.5	▲ 18.0
2022.05 (n=353)	▲ 13.3	▲ 22.7	0.0	▲ 30.2
2022.08 (n=347)	0.9	▲ 12.7	11.9	▲ 11.1
2022.11 (n=344)	0.5	▲ 6.2	7.7	▲ 8.3
<b>2023.02 (n=344)</b>	<b>▲ 4.0</b>	<b>▲ 4.7</b>	<b>0.6</b>	<b>▲ 11.8</b>
前回調査比	(▲ 4.5)	(1.5)	(▲ 7.1)	(▲ 3.5)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 24.1</b>	<b>▲ 28.6</b>	<b>▲ 20.1</b>	<b>▲ 28.4</b>
今回調査比	(▲ 20.1)	(▲ 23.9)	(▲ 20.7)	(▲ 16.6)

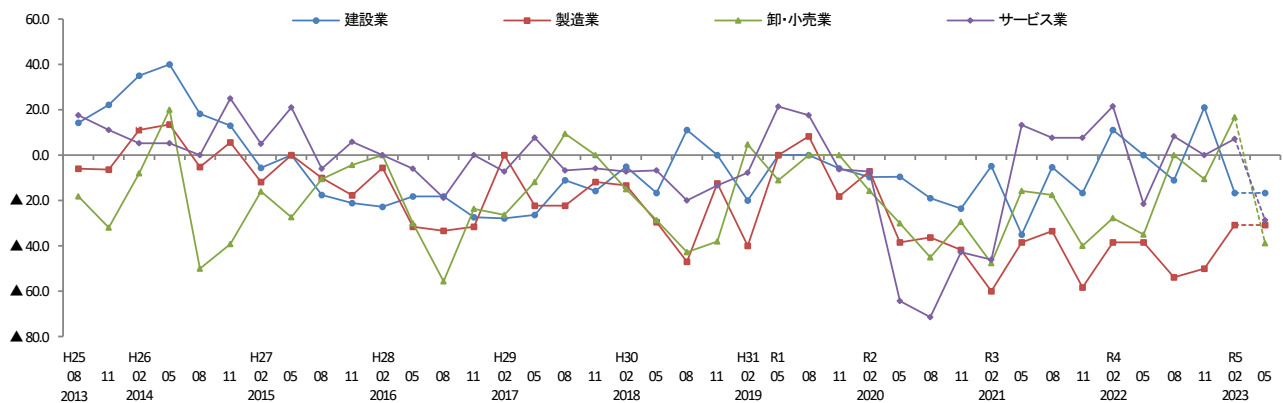
## (2) 地域別 D I 値の動向

### ① 県北

「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」は▲4.7 (前回調査比 1.5 ポイント上昇) と 3 期連続で改善となった。業種別では、建設業が大幅な悪化となった一方、卸・小売業と製造業がともに大幅な改善となったほか、サービス業でも改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲28.6 (今回調査比 23.9 ポイント下落) と大幅な悪化が見込まれている。業種別では、建設業と製造業がともに横這いの見通しとなった一方、卸・小売業とサービス業では大幅な悪化が見込まれている。

図表 13 県北業種別「自社業況 D I 値 (前年同期比)」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

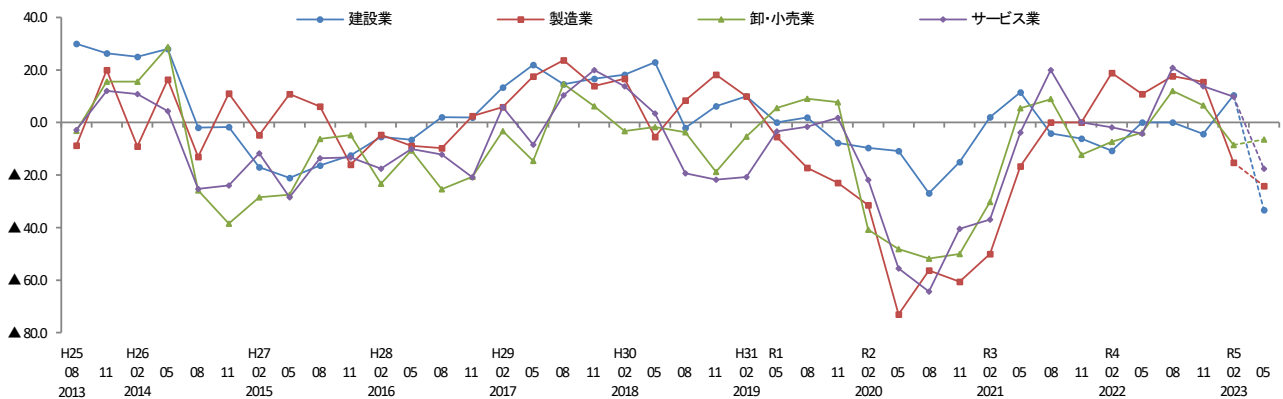
県北 調査時(サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2022.02 (n=63)	▲ 7.9	11.1	▲ 38.4	▲ 27.7	21.5
2022.05 (n=66)	▲ 22.7	0.0	▲ 38.4	▲ 35.0	▲ 21.5
2022.08 (n=63)	▲ 12.7	▲ 11.1	▲ 53.8	0.0	8.3
2022.11 (n=64)	▲ 6.2	21.0	▲ 50.0	▲ 10.5	0.0
<b>2023.02 (n=63)</b>	<b>▲ 4.7</b>	<b>▲ 16.7</b>	<b>▲ 30.8</b>	<b>16.7</b>	<b>7.2</b>
前回調査比	(1.5)	(▲ 37.7)	(19.2)	(27.2)	(7.2)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 28.6</b>	<b>▲ 16.7</b>	<b>▲ 30.8</b>	<b>▲ 38.8</b>	<b>▲ 28.6</b>
今回調査比	(▲ 23.9)	(0.0)	(0.0)	(▲ 55.5)	(▲ 35.8)

## ② 中央

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 0.6（前回調査比 7.1 ポイント下落）と引き続き「良化」超ながら 2 期連続の悪化となった。業種別では、建設業で改善となった一方、製造業で大幅に悪化したほか、卸・小売業とサービス業でも悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が ▲20.1（今回調査比 20.7 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。業種別では、卸・小売業では改善が見込まれる一方、建設業とサービス業では大幅な悪化が見込まれているほか、製造業でも悪化の見通しとなっている。

図表 14 中央業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

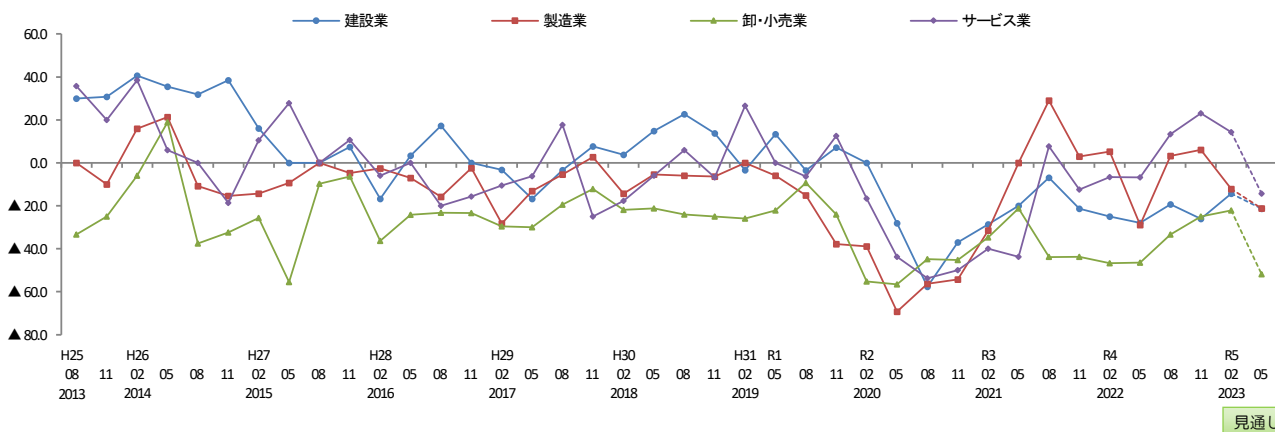
中 央 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2022.02 (n=196)	▲ 1.5	▲ 10.7	18.9	▲ 7.3	▲ 1.8
2022.05 (n=181)	0.0	0.0	10.8	▲ 3.8	▲ 4.2
2022.08 (n=185)	11.9	0.0	17.6	12.0	20.8
2022.11 (n=183)	7.7	▲ 4.3	15.4	6.5	13.8
<b>2023.02 (n=179)</b>	<b>0.6</b>	<b>10.4</b>	<b>▲ 15.2</b>	<b>▲ 8.5</b>	<b>9.8</b>
前回調査比	(▲ 7.1)	(14.7)	(▲ 30.6)	(▲ 15.0)	(▲ 4.0)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 20.1</b>	<b>▲ 33.3</b>	<b>▲ 24.2</b>	<b>▲ 6.4</b>	<b>▲ 17.6</b>
今回調査比	(▲ 20.7)	(▲ 43.7)	(▲ 9.0)	(2.1)	(▲ 27.4)

### ③ 県南

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲11.8（前回調査比 3.5 ポイント下落）と 3 期ぶりの悪化となった。業種別にみると、建設業と卸・小売業で改善となった一方、製造業とサービス業では悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲28.4（今回調査比 16.6 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。業種別では、4 業種すべてで悪化の見通しとなっており、卸・小売業とサービス業では大幅な悪化が見込まれている。

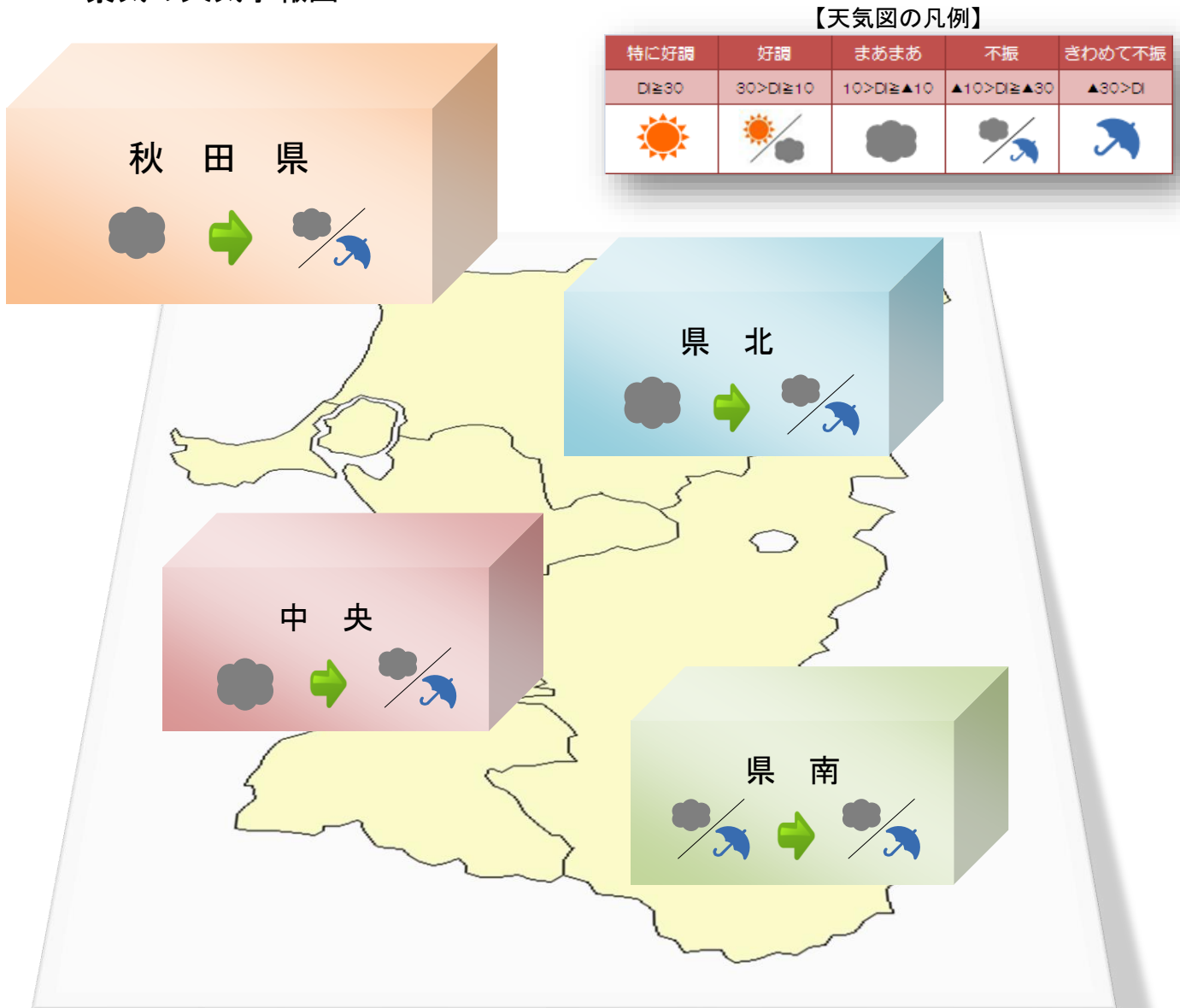
図表 15 県南業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

県南 調査時(サンプル数)	自社業況（前年同期比）				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2022.02 (n=111)	▲ 18.0	▲ 25.0	5.3	▲ 46.7	▲ 6.6
2022.05 (n=106)	▲ 30.2	▲ 28.0	▲ 28.9	▲ 46.4	▲ 6.7
2022.08 (n= 99)	▲ 11.1	▲ 19.3	3.2	▲ 33.3	13.3
2022.11 (n= 97)	▲ 8.3	▲ 26.1	6.1	▲ 25.0	23.1
<b>2023.02 (n=102)</b>	<b>▲ 11.8</b>	<b>▲ 14.3</b>	<b>▲ 12.1</b>	<b>▲ 22.2</b>	<b>14.3</b>
前回調査比	(▲ 3.5)	(11.8)	(▲ 18.2)	(2.8)	(▲ 8.8)
<b>先行き見通し</b>	<b>▲ 28.4</b>	<b>▲ 21.4</b>	<b>▲ 21.2</b>	<b>▲ 51.9</b>	<b>▲ 14.3</b>
今回調査比	(▲ 16.6)	(▲ 7.1)	(▲ 9.1)	(▲ 29.7)	(▲ 28.6)

Ⅱ. 景気の天気予報図



今期の概況

来期の見通し

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				



	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

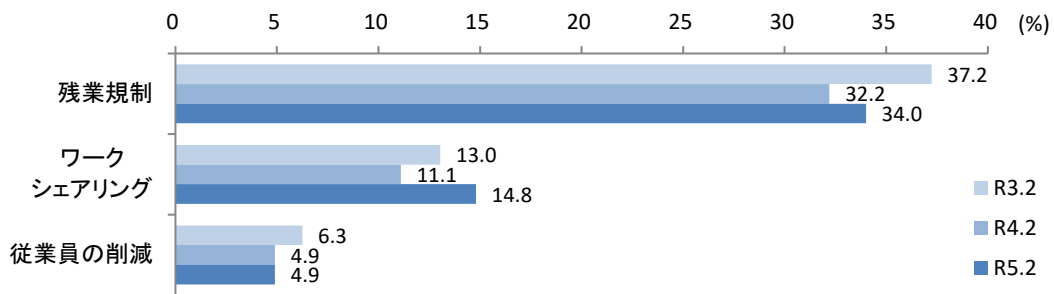
### Ⅲ. 特別調査

#### 1. 雇用調整について

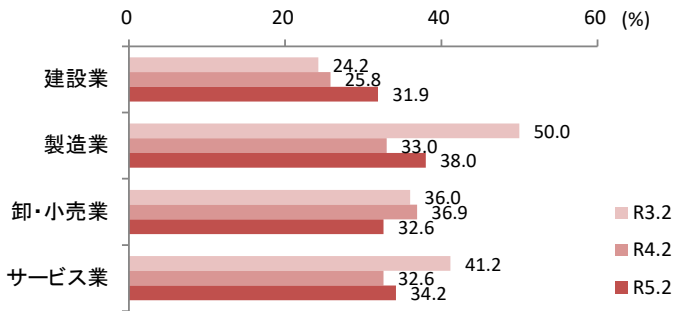
令和 4 年度に実施した（あるいは実施している）雇用調整について尋ねたところ、実施している企業の割合は、「残業規制」が 34.0%（前年調査比 1.8 ポイント上昇）、「ワークシェアリング」が 14.8%（同 3.7 ポイント上昇）とともに前年に比べて上昇した一方、「従業員の削減」は 4.9%と横這いであった。

実施している企業の割合が最も高いのは引き続き「残業規制」で、3 割台となっている。

図表 16 雇用調整の実施状況

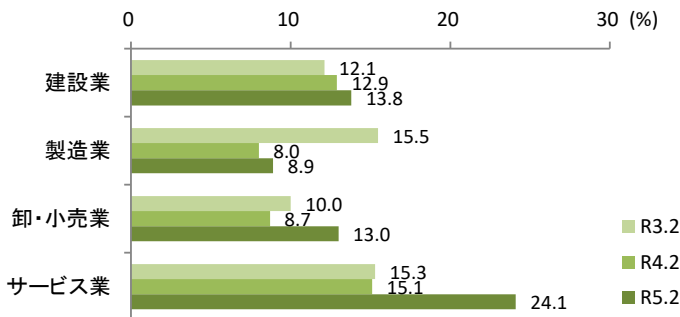


図表 17 業種別「残業規制」の実施状況



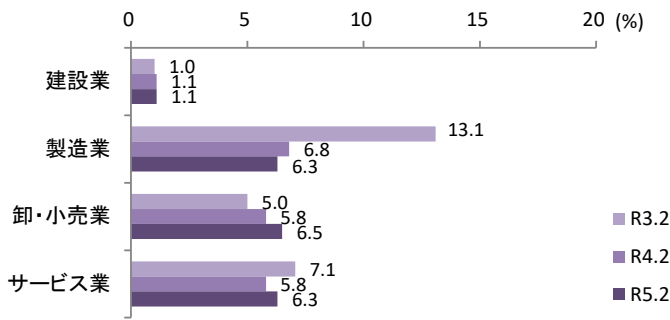
「残業規制」を実施した企業の割合を前年調査と比較すると、卸・小売業では低下となった一方、建設業、製造業、サービス業ではいずれも上昇となった。最も割合が高いのは製造業の 38.0%で、いずれの業種も 3 割台となっている。

図表 18 業種別「ワークシェアリング」の実施状況



「ワークシェアリング」を実施した企業の割合を前年調査と比較すると、4 業種すべてで上昇となった。実施した企業の割合は、サービス業が 2 割台と最も高く、建設業と卸・小売業は 1 割台、製造業は 1 割未満となっている。

図表 19 業種別「従業員の削減」の実施状況



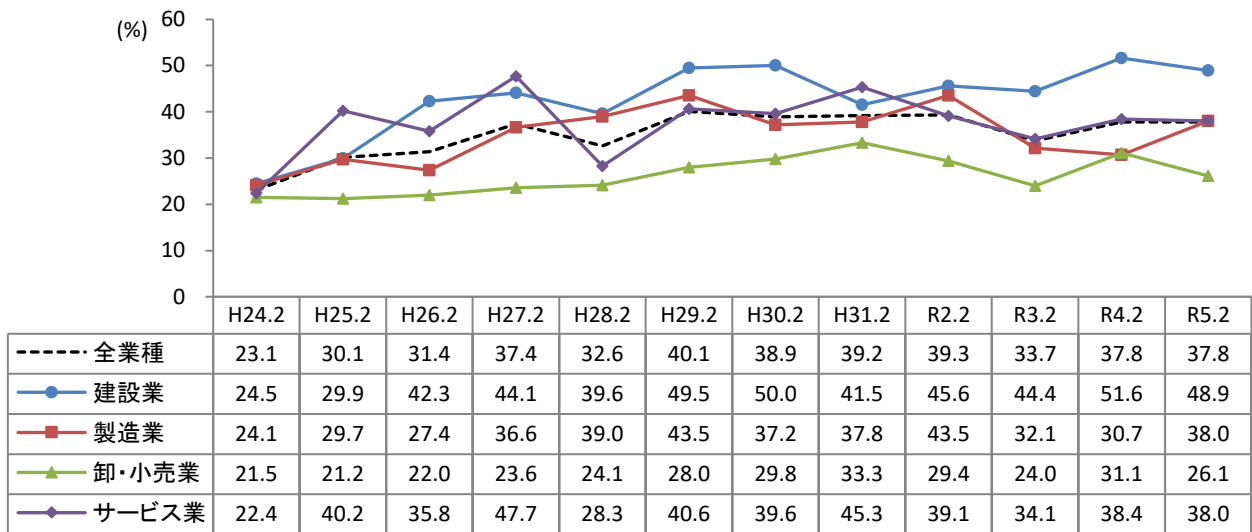
「従業員の削減」を実施した企業の割合を前年調査と比較すると、建設業は横這い、製造業は低下となった一方、卸・小売業とサービス業では増加となった。実施した企業の割合は、いずれの業種でも 1 割未満と低い割合となっている。

## 2. 新卒者の採用状況について

来年度（令和 5 年度）の新卒者の採用状況（採用する）について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種では 37.8%（前年調査比±0 ポイント）と横這いとなった。

業種別では、製造業で上昇したものの、その他の 3 業種ではいずれも減少となっている。

図表 20 業種別「新卒者の採用状況」



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	22	17	24	19	82
中央	64	50	67	76	257
県南	36	49	40	21	146
合計	122	116	131	116	485

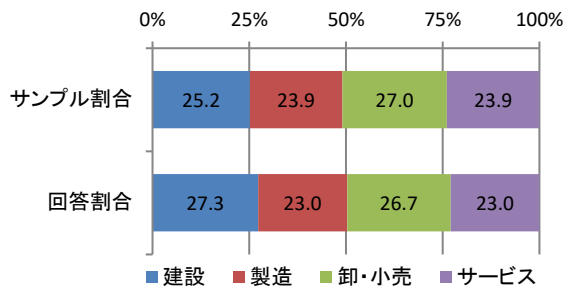
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	18	13	18	14	63
中央	48	33	47	51	179
県南	28	33	27	14	102
合計	94	79	92	79	344

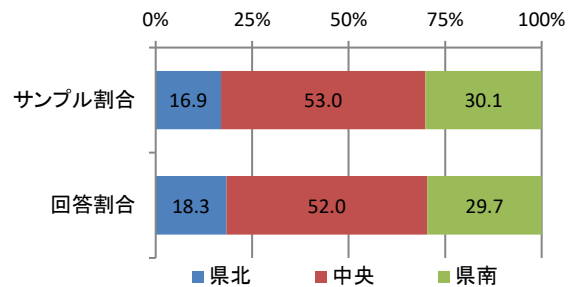
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	81.8	76.5	75.0	73.7	76.8
中央	75.0	66.0	70.1	67.1	69.6
県南	77.8	67.3	67.5	66.7	69.9
合計	77.0	68.1	70.2	68.1	70.9

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

● 調査期間

2023年2月1日（水）～15日（水）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、湯上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村



## ● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢 (択一方式)		
自社の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製 (商) 品の仕入価格 (卸・小売業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採っている。

## ● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況 D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる。

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」 (「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

## <お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<https://www.fir.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

## <お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研 秋田事業所 地域政策コンサルティング部 後藤/佐藤

### ・ 秋田事業所

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店 3F

TEL : 018-837-1727 Fax : 018-834-5508

### ・ 山形支社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F

TEL : 023-626-9017 Fax : 023-626-9038 E-mail : kenkyuu@fir.co.jp

URL : <https://www.fir.co.jp/>